

汎用自動レイアウトエンジン ジェダール ユーザーガイド

Mk2 090204

1. イントロダクション

| Ge-DALe の特徴 | 2 |
|-----------------|---|
| 対応 OS/ アプリケーション | 3 |
| 自動レイアウトの概要 | 4 |
| キーワード | 5 |

2. インストール

| アプリケーションのインストール | 7 |
|-----------------|---|
| ライセンスキーの取得と登録 | 7 |

3. 基本操作

| Ge-DALeの起動と終了 9 |
|----------------------|
| 新しいプロジェクトを作成する 10 |
| 既存のプロジェクトを開く 10 |
| プロジェクトを閉じる11 |
| プロジェクトを保存する 11 |
| プロジェクトを別名で保存する11 |
| オブジェクト設定パレットを表示する 11 |
| データリンクを設定する 12 |
| テンプレートを設定する 13 |
| 結合配置を設定する 14 |
| オブジェクトのパラメータを消去する 14 |
| プロジェクトに戻る14 |
| 置換リストを編集する 15 |
| レイアウトを実行する15 |
| ドキュメントフォルダを空にする15 |
| ログフォルダを空にする15 |
| ライセンス情報を確認する 15 |
| |

4. プロジェクトフォルダ

| プロジェクトファイル | 16 |
|------------|----|
| データソースフォルダ | 16 |
| テンプレートフォルダ | 17 |
| ドキュメントフォルダ | 17 |
| ログフォルダ | 17 |
| 画像ファイルフォルダ | 17 |
| スクリプトフォルダ | 18 |
| 置換リストファイル | 18 |

5. データソース

| データソースの種類 | 19 |
|--------------|--------|
| Unicode と異体字 | 22 |
| データフィールド | 23 |

6. テンプレート

| テンプレートの種類 24 | ć |
|------------------|---|
| テンプレートの作成手順 24 | ŧ |
| テンプレートファイルの保存 25 | , |
| テキストリンク設定 25 |) |
| 画像リンク設定 29 | ł |
| テンプレート設定 | |

7.マスター

| マスターの設定 | 32 |
|------------|----|
| ペースト結合配置設定 | 33 |
| フロー結合配置設定 | 34 |
| テンプレートの順序 | 35 |
| マスターの適用 | 35 |

8. レイアウト実行

| 自動レイアウ | トの準備 | | 36 |
|--------|------|------|--------|
| プロジェクト | パネル | | 37 |
| レイアウト実 | 行 | | 40 |

9. その他の機能

| HTMLへの書き出し 41 | |
|---------------|--|
| イベントによる稼働 43 | |
| スクリプトの実行 44 | |

文中のアイコンについて

▲ 注意点等 🖉 有効な情報/ヒント等 😰 参照情報等

イントロダクション

この度は、Ge-DALe をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

Ge-DALe(Generic Document Auto Layout Engine) は、テキストや DB 等の幅広いデータソースから各種レイアウトソフトや HTML ファイルへの自動組版を実行する、汎用自動レイアウトエンジンパッケージです。

Ge-DALe の特徴

豊富なコネクションサポート

データソースとして CSV/TSV/FileMaker Pro/Microsoft Excel/MySQL/PostgreSQL を利用することが可能です。

レイアウトターゲットは Adobe InDesign/Adobe Illustrator/QuarkXPress のスタンダードなアプリケーションに対応していま す。さらに HTML 書き出しもサポートしています。

テンプレート群を駆使したバリエーションレイアウト

台紙と小組等で構成される複数のテンプレートを結合 / 配置しながらのレイアウトが可能です。さらにページへッダ / フッタ、オ ブジェクト調整機能をあわせて利用することで、連続 / 変動性のあるページ処理を実現します。

定評ある使いやすさと充実の支援機能

データソースやレイアウトターゲットの組み合わせが変わっても、その使い勝手は変わりません。使い慣れたレイアウトツールの 延長として、目的/用途/媒体に応じて最適なワークフローと作業性を提供します。

また、タグ流し込み、テキスト置換、ページ分割、自動保存、PDF 保存、文字のアウトライン化、画像ファイル自動検出、ログ レポート等、支援機能も充実しています。

自動レイアウトをカスタマイズ

AppleScript や AppleEvent をサポート。レイアウト中の様々な場面でスクリプトを実行したり、他のアプリケーションからイベ ントを受けてレイアウトを実行することが可能です。アイディア次第でカスタマイズの幅は無限に広がります。

対応 OS/ アプリケーション

OS

MacOSX 10.3.9 \sim

レイアウトアプリケーション

Adobe InDesign CS2 \sim CS4 Adobe Illustrator CS2 \sim CS4 QuarkXPress 6.5

データソース

CSV TSV (タプテキスト) FileMaker Pro 5.5 ~ 10 Microsoft Excel 2004 ~ 2008 MySQL PostgreSQL

✔ FileMaker Pro と組み合わせて使用することで、ODBC や XML をデータソースとして取り扱うことも可能です。

▲ OS/アプリケーションについての詳しい内容は、以下の URL をご参照ください。

アップルジャパン株式会社 (http://www.apple.com/jp/)

アドビシステムズ株式会社 (http://www.adobe.com/jp/)

クォークジャパン株式会社 (http://japan.quark.com/)

ファイルメーカー株式会社 (http://www.filemaker.co.jp/)

マイクロソフト株式会社 (http://www.microsoft.com/japan/mac/)

日本 MySQL ユーザ会 (http://www.mysql.gr.jp/)

日本 PostgreSQL ユーザ会 (http://www.postgresql.jp/)

自動レイアウトの概要

Ge-DALe では、様々なレイアウトひな形 (マスターやテンプレート)を組み合わせながらドキュメント上に結合配置し、データソー スからテキストや画像データを流し込むことによって高度な自動レイアウトを実現します。



自動レイアウトの概要図

【ページを追加する際に行なわれる処理】

マスターの適用

新たなページを作成する際に、指定されたマスターが適用されます。ページ内の自動レイアウトは適用されたマスターに 基づいて実行されます。適用するマスターはレイアウト実行時に任意のマスターを指定することも可能ですし、データソー ス側であらかじめ指定しておくことも可能です。

ヘッダテンプレートへの流し込み

ページに適用されたマスター内にヘッダテンプレートがある場合は、そこに現在のレコードの内容が流し込まれます。

【レコード毎に繰り返し行なわれる処理】

テンプレートの結合配置

ページに適用されたマスター内に結合配置ボックスがある場合は、設定に基づきテンプレートが結合配置されます。ペー スト結合配置の場合は指定位置に、フロー結合配置の場合は直前のテンプレートの終了位置にテンプレートが結合配置さ れます。

レコードテンプレートへの流し込み

テンプレート内の各ボックスに設定されたデータリンク情報に基づき、現在のレコードのテキストや画像がボックスに流 し込まれます。あわせて流し込まれたデータおよびボックスの調整も行なわれます。

【ページの終末で行なわれる処理】

フッタテンプレートへの流し込み

ページに適用されたマスター内にフッタテンプレートがある場合は、そこに現在のレコードの内容が流し込まれます。

キーワード

プロジェクト

自動レイアウトを行なうための設定や素材をひとつにまとめた単位です。プロジェクトはひとつのフォルダに集約され、その中に 設定ファイル、データソース、テンプレート、成果ドキュメント、ログ、素材画像ファイル等が格納されます。

データソース

自動レイアウトの基となるデータベースです。CSV/TSV/FileMaker Pro/Microsoft Excel/MySQL/PostgreSQL を利用することが 可能です。

レコード

データソース内の1件毎のデータ単位です。住所録に例えた場合、1人分の住所/氏名/電話番号等の情報がセットになったデー タが1レコードとなります。一般的な表に例えた場合、1行に相当します。

フィールド

データソース内のデータ項目単位です。住所録に例えた場合、住所 / 氏名 / 電話番号等の各項目のことを指します。一般的な表に 例えた場合、1 列に相当します。

レイアウトターゲット

自動レイアウトの対象となるレイアウトアプリケーションです。Adobe InDesign/Adobe Illustrator/QuarkXPress に対応しています。

ドキュメント

それぞれのレイアウトアプリケーション固有の形式で保存されるアプリケーションファイルです。

テンプレート

小組のひな形のことを指します。複数のボックスで構成されたひとつのグループボックスが1テンプレートとして定義されます。 1テンプレートにはデータソースの1レコード分のデータが流し込まれます。

マスター

各ページの基本構成となる台紙のことを指します。マスターページもしくはドキュメントから適用されます。

データリンク

各々のボックスとそこに流し込まれるデータフィールドとの関連付けのことを指します。

結合配置

ファイルとして保存されたテンプレートをページ上に自動的に結合 / 配置する処理のことを指します。指定位置に配置するペース ト結合配置と成りゆきで配置するフロー結合配置の2つの方式があります。

ボックス

テキストや画像を格納する箱のことを指します。Adobe InDesign ではフレーム、QuarkXPress ではボックスと呼ばれます。 Adobe Illustrator の場合は単一の閉じたパスオブジェクトのことを指します。テキストを格納するものをテキストボックス、画 像を格納するものを画像ボックスと呼びます。

グループボックス

複数のボックスをグルーピングした集合体のことを指します。1 グループボックスは1 テンプレートとして機能します。

スタイル

一般的にスタイルシートと呼ばれる、文字体裁等をあらかじめ定義した設定のことを指します。テキストの流し込みを行なう際に 使用されます。

インストール

Ge-DALeを使用するにあたっては、まずアプリケーションのインストールを行ないます。さらに製品版として機能させるために はライセンスキーの取得と登録を行なう必要があります。

アプリケーションのインストール

CD-ROM 内の Ge-DALe アプリケーションアイコンをハードディスクのアプリケーションフォルダにコピーします。

愛 製品のアップデータ等は、製品サイト Ge-DALe.com(http://www.ge-dale.com/) にて随時ご提供しています。

ライセンスキーの取得と登録

ライセンスキーを登録していない場合、Ge-DALe は評価版として動作します。

| ライセンス | |
|--|-------|
| インターネットからライセンスキーを取得する場合はシリ バーを入力して「WWW接続」をクリックしてください。 | リアルナン |
| シリアルナンバー: | |
| マシンコード: | |
| ライセンスキー: | |
| WWW接続 キャンセル | ОК |

ライセンスパネル

インターネットで取得する(インストールするマシンがインターネットに接続されている場合)

Ge-DALe を起動します。

ヘルプメニューから「ライセンス ...」を実行し、ライセンスパネルを表示します。

ライセンスパネルのシリアルナンバーの欄に、製品に同梱されているシリアルナンバーシートに記載されているシリアルナンバー を入力します。

「WWW 接続」をクリックします。

Web ブラウザが起動し、ライセンスキー取得手続きのページに接続されますので、画面の指示に従ってライセンスキーを取得し てください。

ライセンスキーを取得したら、ライセンスパネルのライセンスキーの欄にライセンスキーを入力し、「OK」をクリックします。

Ge-DALe メニューから「Ge-DALe について...」を実行し、表示されるパネルが「Professional Edition」となっていれば、ライ センスキーの登録が正常に完了したことを示しています。

別のマシンからインターネットで取得する(インストールするマシンがインターネットに接続されていない場合)

Ge-DALe を起動します。

ヘルプメニューから「ライセンス ...」を実行し、ライセンスパネルを表示します。

ライセンスパネルのシリアルナンバーの欄に、製品に同梱されているシリアルナンバーシートに記載されているシリアルナンバー を入力します。

入力したシリアルナンバーとマシンコードの欄に記載されているマシンコードをメモします。

インターネットに接続されている別のマシンで Web ブラウザを起動し、Ge-DALe テクニカルサポートサイト (http://www.ge-dale.com/support/) を表示し、画面の指示に従ってライセンスキーを取得してください。

ライセンスキーを取得したら、ライセンスパネルのライセンスキーの欄にライセンスキーを入力し、「OK」をクリックします。

Ge-DALe メニューから「Ge-DALe について...」を実行し、表示されるパネルが「Professional Edition」となっていれば、ライ センスキーの登録が正常に完了したことを示しています。

ファクシミリで取得する場合

CD-ROM 内の「ユーザー登録シート .pdf」をプリントアウトします。

Ge-DALe を起動します。

ヘルプメニューから「ライセンス ...」を実行し、ライセンスパネルを表示します。

ライセンスパネルのシリアルナンバーの欄に、製品に同梱されているシリアルナンバーシートに記載されているシリアルナンバー を入力します。

入力したシリアルナンバーとマシンコードの欄に記載されているマシンコードをメモします。

ユーザー登録シートに必要事項を記入し、製品に同梱されているイントロダクションガイド記載の Ge-DALe テクニカルサポート までファクス送信してください。折り返しライセンスキーをご連絡いたします。

ライセンスキーを取得したら、ライセンスパネルのライセンスキーの欄にライセンスキーを入力し、「OK」をクリックします。

Ge-DALe メニューから「Ge-DALe について ...」を実行し、表示されるパネルが「Professional Edition」となっていれば、ライ センスキーの登録が正常に完了したことを示しています。

- ファクシミリでのライセンスキーの取得 / 発行には若干お時間を要する場合があります。お急ぎの場合は極力インター ネットによる取得手続きをご利用ください。
- うイセンスはインストールするマシン毎に取得する必要があります。インストールするマシンを変更する場合はそのマシン上で再度ライセンスキーを取得する必要があります。新しいマシンでのライセンス取得後は、以前のマシンのライセンスは失われます。

基本操作

Ge-DALe の基本操作について説明します。



Ge-DALe メニューとファイルメニュー

Ge-DALe の起動と終了

Ge-DALe を起動する場合は、アプリケーションアイコンをダブルクリックします。 終了する場合は、Ge-DALe メニューから「Ge-DALe を終了」を実行します。 新しいプロジェクトを作成する

| テーダソース | | | ページ処理 | | |
|-------------------------|-----------|--------|------------------------------|-------------|--|
| ● テキスト | | \$ | 現在のページの | 4 | |
| FileMaker Pro | | | ○ 継続してページ | を追加 | |
| Microsoft Exce | el | | • 71-1 | ルドデータ | マスターページ |
| その他 | MySQL | : | マスター: | 存 □ マスタ- | + -毎に分割 |
| アドレス/ポート: | | | | 0 | |
| データベース: | | | ○ ページ毎に別ドコ | キュメントを作成 | |
| 名前/パスワード: | | | · 71-1 | ルドデータ | マスターファイル |
| エンコーディング | Unicode | (1) | マスター: | | ÷ |
| SQL: | | | 保存 | | |
| (| | | | PDF | \$ |
| 接税 | | | 名称: プロジェク | 小名 : 28 | * 未設定 |
| 画像フォルダ | | | 保存スクリプト: | なし | 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1 |
| 画像フォルダ: | | | | | |
| 選択 | | | スクリプト | | |
| | | | 開始スクリプト: | なし | \$ |
| データ範囲 | | | 終了スクリプト: | なし | \$ |
| ● 範囲指定 | 1 ~ | | その他 | | |
| ○ 現在のレコードか | nG | 件 | ── 実行前にドキュ> | ベントフォルダをクリア | |
| レイマウトカーゲット | | | 実行前にログフ: | ォルダをクリア | |
| 210 019 - 0 01 | | | ── 置換リストを使用 | | シリストを編集 |
| ターゲット: | | • | テキストのアウト | ライン化 | the data |
| | オフジェクト設定パ | レットを開く | | レートかんい場合は何 | ふれもレポート |
| - | | _ | | | and a dealer of a |

プロジェクトパネル

新しいプロジェクトを作成する場合は、ファイルメニューから「新規プロジェクト …」を実行します。

保存ダイアログが表示されますので、プロジェクトの保存先とプロジェクト名を指定し、「保存」ボタンをクリックします。 指定した保存先に空のプロジェクトフォルダが作成され、新規プロジェクトパネルが開きます。

【② プロジェクトフォルダについての詳しい内容は、ユーザーガイド「4. プロジェクトフォルダ」をご参照ください。

既存のプロジェクトを開く

既存のプロジェクトを開く場合は、プロジェクトフォルダ内のプロジェクトファイルをダブルクリックします。もしくは、ファイ ルメニューから「プロジェクトを開く...」を実行しプロジェクトファイルを指定します。

▲ 一度に開けるプロジェクトはひとつだけです。複数のプロジェクトを同時に開くことはできません。

プロジェクトを閉じる

現在開いているプロジェクトを閉じる場合は、プロジェクトパネルの「キャンセル」ボタンをクリックします。もしくは、ファイ ルメニューから「プロジェクトを閉じる」を実行します。

開いているプロジェクトの中に変更後保存されていないパラメータが存在する場合は、保存を促す警告ダイアログが表示されます。 保存して閉じる場合は「保存する」ボタンを、保存せずに閉じる場合は「保存しない」ボタンを、プロジェクトパネルに戻る場合 は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

プロジェクトを保存する

現在開いているプロジェクトを保存する場合は、ファイルメニューから「プロジェクトを保存」を実行します。 プロジェクトファイルに設定が上書き保存されます。

プロジェクトを別名で保存する

現在開いているプロジェクトを別名で保存する場合は、ファイルメニューから「プロジェクトを別名で保存…」を実行します。 保存ダイアログが表示されますので、新たなプロジェクトの保存先とプロジェクト名を指定し、「保存」ボタンをクリックします。 指定した保存先に現在のプロジェクトフォルダが新しい名前で複製されます。プロジェクトフォルダ内の各フォルダの内容もあわ せて複製されます。

【2 プロジェクトフォルダについての詳しい内容は、ユーザーガイド「4. プロジェクトフォルダ」をご参照ください。

オブジェクト設定パレットを表示する



オブジェクト設定パレット

オブジェクト設定パレットを表示する場合は、プロジェクトパネルのレイアウトターゲット部にある「オブジェクト設定パレット を開く」ボタンをクリックします。

指定したレイアウトアプリケーションが前面に出て、オブジェクト設定パレットが表示されます。

オブジェクト設定パレットを表示するためには、あらかじめ対象となるレイアウトアプリケーションを起動しておく必要 があります。 データリンクを設定する

| | | テキスト | リンク設定 | | |
|---------------------------------------|---|---------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|--------------------|
| No. <i>へッ</i> ダ | ヘッダスタイル | フィールド | フィールドスタイル | フッタ | + - • |
| 1 | tal 🛟 | 12L \$ | 1 tal \$ | | tal 🛟 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| オプション: | (ttl | : | | | |
| オプション: 長体/平体: | (なし) ※ずつ | ・ %まで | 文字サイズ絡小: | Q4"> | Qまで |
| オプション: 長体/平体: ボックス拡張: | なし %ずつ リミットなし | * %まで | 文字サイズ縮小: | Q¥"> | Q.ह.ए |
| オブション: 長体/平体: ボックス拡張: | なし %3*つ リミットなし テキストをタグとし | ・ %まで ↓ して読み込む | 文字サイズ縮小: | Qずつ ボックスの拡張に | Qまで 連動 |
| オプション: 長体/平体: ボックス拡張: | なし %ずつ リミットなし デキストをタグとし データが空の場合 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 文字サイズ縮小: 他テキスト: データが空 | Qずつ ボックスの拡張に 20場合オブジェ? | Qまで 注動 2ケを消去 |
| オプション: 長体/平体: ボックス拡張: スクリプト: | なし 96ずつ リミットなし デキストをタグとし データが空の場合 なし | %まで かして読み込む 含ヘッダフッタを無視 ・ | 文字サイズ縮小: 他テキスト: データが空 | Qずつ ボックスの拡張に の場合オブジェン | Qまで 連動 かを消去 |
| オプション: 長体/平体: ボックス拡張: スクリプト: | なし 95 かなし シミントなし デキストをタグとし データが空の場合 なし | %まで | 文字サイズ縮小: | Qずつ ポックスの拡張に の場合オブジェイ | Qまで 速動 かトを消去 |

テキストリンク設定パネル

| | 画像リンク設定 |
|--------|--|
| | |
| フィールド: | tal ; |
| オプション: | tal 🛟 |
| 縮尺倍率: | % |
| 位置合わせ: | 000 |
| | - ボックスを内容に合わせる |
| | データが空の場合オブジェクトを消去 他テキストボックスの拡張に連動 |
| スクリプト: | <i>なし</i> + |
| | キャンセル 設定 |

画像リンク設定パネル

ボックスにデータリンク設定を行なう場合は、レイアウトアプリケーション上でそのボックスを選択した状態でオブジェクト設定 パレットの「データリンク設定」ボタンをクリックします。

ボックスの種類に応じたデータリンク設定パネルが表示されますので、パラメータを指定します。

「設定」ボタンをクリックすると指定したパラメータがオブジェクトに記憶されます。「キャンセル」をクリックするとパラメータ は保存されません。

▲ パネルが開いている状態でパネル以外の部分をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

ボックスを選択する場合は、Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、ダイレクト選択ツール(白矢印)を使用します。 テキストボックスを選択する場合は文字ツール(T)も使用できます。QuarkXPress では、編集ツール(手のひら)を使用 します。

【2 データリンク設定パネルについての詳しい内容は、ユーザーガイド「6. テンプレート」をご参照ください。

テンプレートを設定する



テンプレート設定パネル

グループボックスにテンプレート設定を行なう場合は、レイアウトアプリケーション上でそのグループボックスを選択した状態で オブジェクト設定パレットの「テンプレート設定」ボタンをクリックします。

テンプレート設定パネルが表示されますので、パラメータを指定します。

「設定」ボタンをクリックすると指定したパラメータがオブジェクトに記憶されます。「キャンセル」をクリックするとパラメータ は保存されません。

▲ パネルが開いている状態でパネル以外の部分をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

グループボックスを選択する場合は、Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、選択ツール(黒矢印)を使用します。
 QuarkXPress では、アイテムツール(十字矢印)を使用します。

「ビョテンプレート設定パネルについての詳しい内容は、ユーザーガイド「6. テンプレート」をご参照ください。

結合配置を設定する

| 結合配置設定 | | | |
|--|--|--|--|
| ペースト結合配置 ・フィールドデータ ファイル デンプレート: 位置合わせ: ・ ・ | | | |
| ○ フロー結合配置 ● フィールドデータ ○ ファイル | | | |
| テンプレート: | | | |
| $^{\mathrm{56:}}$ \odot \angle \bigcirc \angle \bigcirc \bigvee \bigcirc \bigvee | | | |
| キャンセル 設定 | | | |

結合配置設定パネル

ボックスに結合配置設定を行なう場合は、レイアウトアプリケーション上でそのボックスを選択した状態でオブジェクト設定パ レットの「結合配置設定」ボタンをクリックします。

結合配置設定パネルが表示されますので、パラメータを指定します。

「設定」ボタンをクリックすると指定したパラメータがオブジェクトに記憶されます。「キャンセル」をクリックするとパラメータ は保存されません。

パネルが開いている状態でパネル以外の部分をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

 \vec{V} ボックスを選択する場合は、Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、ダイレクト選択ツール (白矢印)を使用します。 テキストボックスを選択する場合は文字ツール (T) も使用できます。QuarkXPress では、編集ツール (手のひら)を使用 します。

【2】結合配置設定パネルについての詳しい内容は、ユーザーガイド「7.マスター」をご参照ください。

オブジェクトのパラメータを消去する

ボックスに設定されたリンク設定、もしくはグループボックスに設定されたテンプレート設定を消去する場合は、レイアウトアプ リケーション上でそのオブジェクトを選択した状態でオブジェクト設定パレットの「パラメータクリア」ボタンをクリックします。 確認ダイアログが表示されます。消去する場合は「OK」ボタンを、中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。 「OK」ボタンをクリックすると、選択しているオブジェクトのリンク設定もしくはテンプレート設定が消去されます。

プロジェクトに戻る

オブジェクト設定パレットを閉じてプロジェクトに戻る場合は、オブジェクト設定パレットの「プロジェクトに戻る」ボタンをク リックします。

置換リストを編集する

レイアウト実行時に参照されるテキスト置換の設定リストを編集する場合は、プロジェクトパネルの「置換リストを編集」ボタン をクリックします。

テキストエディタ上で置換リストが開かれます。

【生】置換リストの編集についての詳しい内容は、ユーザーガイド「4. プロジェクトフォルダ」をご参照ください。

レイアウトを実行する

現在開いているプロジェクトの設定に基づきレイアウトを実行する場合は、プロジェクトパネルの「レイアウト実行」ボタンをク リックします。

自動レイアウトが実行されます。処理を中止する場合はステータスパネルが前面に表示されている状態でコマンドキーとビリオド キー(#+.)を同時に押し続けます。

🖉 自動レイアウト処理の状況によっては処理の中止までにしばらく時間がかかる場合があります。その際は処理が中止され るまでキーを押し続けてください。

【2 プロジェクトパネルとレイアウト実行についての詳しい内容は、ユーザーガイド「8. レイアウト実行」をご参照ください。

ドキュメントフォルダを空にする

現在開いているプロジェクトのドキュメントフォルダを空にする場合は、ファイルメニューから「ドキュメントフォルダをクリア」 を実行します。

確認ダイアログが表示されます。空にする場合は「OK」ボタンを、中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。 「OK」ボタンをクリックすると、プロジェクトのドキュメントフォルダに格納されているすべてのファイルが削除されます。

ログフォルダを空にする

現在開いているプロジェクトのログフォルダを空にする場合は、ファイルメニューから「ログフォルダをクリア」を実行します。 確認ダイアログが表示されます。空にする場合は「OK」ボタンを、中止する場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。 「OK」ボタンをクリックすると、プロジェクトのログフォルダに格納されているすべてのファイルが削除されます。

ライセンス情報を確認する

| ライセンス | | | | |
|--|--|--|--|--|
| インターネットからライセンスキーを取得する場合はシリアルナン バーを入力して「WWW接続」をクリックしてください。 | | | | |
| シリアルナンバー: | | | | |
| マシンコード: | | | | |
| ライセンスキー: | | | | |
| WWW接続 キャンセル OK | | | | |

ライセンスパネル

ライセンス情報を確認する場合は、ヘルプメニューから「ライセンス…」を実行します。 ライセンスパネルに、シリアルナンバー、マシンコード、ライセンスキーが表示されます。

プロジェクトフォルダ

プロジェクトフォルダとは、自動レイアウトを行なうための設定や素材がひとつにまとめられたフォルダです。その中には設定ファ イル、データソース、テンプレート、成果ドキュメント、ログ、素材画像ファイル、スクリプト等が格納されています。



プロジェクトフォルダ



プロジェクトファイル

Ge-DALe のプロジェクト設定が記述されたファイルです。.gprj という拡張子がついています。このファイルをダブルクリックするとプロジェクトが開きます。

データソースフォルダ

自動レイアウトで使用するテキスト(CSV/TSV)ファイルを格納しておくフォルダです。データソースフォルダには複数のファ イルを格納することが可能です。ここに格納されたファイルはプロジェクトのデータソース設定時に候補としてリストアップされ ます。

その他のデータソース (FileMaker Pro/Microsoft Excel/MySQL/PostgreSQL) のファイル等は必ずしもこの中に格納する必要はありません。

⚠ 自動レイアウトに使用するテキスト (CSV/TSV) ファイルは必ずデータソースフォルダに格納しておく必要があります。

【2】データソースについての詳しい内容は、ユーザーガイド「5. データソース」をご参照ください。

テンプレートフォルダ

自動レイアウトで使用するテンプレートファイルやマスタードキュメントファイルを格納しておくフォルダです。ここに格納され たテンプレートファイルやマスタードキュメントファイルは、プロジェクトのテンプレート設定やマスター設定時に候補としてリ ストアップされます。

- ▲ 自動レイアウトに使用するテンプレートファイルやマスタードキュメントファイルは必ずテンプレートフォルダに格納し ておく必要があります。
- [2] テンプレートファイルとマスタードキュメントファイルについての詳しい内容は、ユーザーガイド「6. テンプレート」 「7.マスター」をご参照ください。

ドキュメントフォルダ

自動レイアウト中に自動保存された成果ドキュメントファイルが格納されるフォルダです。

成果ドキュメントファイルはプロジェクトパネルで指定したファイル名で、レイアウトアプリケーション固有のドキュメントファ イル、もしくは PDF ファイルとして自動的に保存されます。

ファイルメニューから「ドキュメントフォルダをクリア」を実行した際、もしくはレイアウト実行の際に「実行前にドキュメント フォルダをクリア」オプションが有効になっている場合に、ドキュメントフォルダに格納されているすべてのファイルは削除され ます。

Ø 自動保存や分割保存の設定がなされていない場合は、成果ドキュメントはドキュメントフォルダに保存されることはあり ません。その際はレイアウトアプリケーションの機能を使用して任意の場所に成果ドキュメントを保存してください。

[2] ドキュメントの自動保存と分割保存についての詳しい内容は、ユーザーガイド「8. レイアウト実行」をご参照ください。

ログフォルダ

自動レイアウトが実行された際のログレポートファイルが格納されるフォルダです。

ログレポートファイルは「西暦4桁+月2桁+日2桁+時2桁+分2桁+秒2桁+.txt」といったファイル名で、テキストファ イルとして保存されます。

ファイルメニューから「ログフォルダをクリア」を実行した際、もしくはレイアウト実行の際に「実行前にログフォルダをクリア」 オプションが有効になっている場合に、ログフォルダに格納されているすべてのファイルは削除されます。

画像ファイルフォルダ

自動レイアウトで使用する画像ファイルを格納しておくフォルダです。ここに画像ファイルを格納しておくと、データソースの フィールドデータに画像ファイル名のみを記述すれば流し込み時に自動的に引き当てられます。

💜 サブフォルダや、より深い階層にある画像ファイルも自動的に検出されます。



● 任意のフォルダを画像ファイルフォルダとして指定することも可能です。プロジェクトパネルで画像ファイルフォルダが 別途指定されている場合はそちらから画像ファイルが引き当てられます。

自動レイアウトに使用する画像ファイルのすべてが画像ファイルフォルダに格納されている必要はありません。データ ソースのフィールドデータにフルパスが記載されている場合はそちらから画像ファイルが引き当てられます。

スクリプトフォルダ

自動レイアウトで使用するスクリプトファイルを格納しておくフォルダです。ここに格納されたスクリプトファイルは、プロジェ クトの各種設定時に候補としてリストアップされます。

▲ 自動レイアウトに使用するスクリプトファイルは必ずスクリプトフォルダに格納しておく必要があります。

【望 スクリプトファイルについての詳しい内容は、ユーザーガイド「9. その他」をご参照ください。

置換リストファイル

自動レイアウトが使用するテキスト置換処理の内容を記述しておくテキストファイルです。プロジェクトフォルダ内に「置換リスト.txt」という名前で保存されています。

プロジェクトパネルの「置換リストを編集」ボタンをクリックするか、「置換リスト.txt」を直接ダブルクリックして編集してください。

置換リストは「置換前テキスト,置換後テキスト」といった形で、置換前テキストと置換後テキストのペアをカンマで区切った形 式で記述してください。複数の置換テキストペアを記述する場合は改行で区切って続けて記述します。

| 設定例 | | | |
|--------|--|--|--|
| 1 志 | | | |
| (電), 〇 | | | |
| | | | |

上記の例の場合、「1」は「壱」に、「(電)」は「☎」にそれぞれ置き換えられて流し込まれます。

データソース

データソースとは、自動レイアウトの基となるデータベースです。CSV/TSV/FileMaker Pro/Microsoft Excel/MySQL/ PostgreSQL を利用することが可能です。

・テキスト(CSV/TSV)ファイルは必ずデータソースフォルダに格納する

- ・CSV/TSV/Microsoft Excelデータの1行目はフィールド名として取り扱われる
- ・FileMaker Proは最前面のデータベースの表示レイアウトフィールドと対象レコードが データソースになる
- ・Microsoft Excelは最前面のブック上で選択されているセルが含まれる表がデータソー スになる
- ・MySQLとPostgreSQLは接続した時点でのデータ配列がデータソースになる
- ・画像ファイルはフルパスまたはファイル名で指定する
- ・テンプレートはファイル名で指定する

- 🖌 ポイント –

・マスターはマスターページ名またはファイル名で指定する

データソースの種類

CSV

一般的にカンマ区切りテキストと呼ばれる不定長なテキストファイル形式です。フィールドデータをカンマで区切り、レコードを 改行で区切ります。フィールドデータの囲み記号 ("= ダブルクォーティション)の有無のどちらにも対応しています。

プロジェクトのデータソースフォルダに格納することによってプロジェクトから利用できるようになります。

▲ Ge-DALeのプロジェクトでは CSV データの1行目はフィールド名レコードとして取り扱われます。1行目にはフィールド名、2行目以降にデータを記述するようにしてください。

TSV

一般的にタブ区切りテキストと呼ばれる不定長なテキストファイル形式です。フィールドデータをタブで区切り、レコードを改行 で区切ります。フィールドデータの囲み記号 ("= ダブルクォーティション) の有無のどちらにも対応しています。

プロジェクトのデータソースフォルダに格納することによってプロジェクトから利用できるようになります。

▲ Ge-DALeのプロジェクトではTSV データの1行目はフィールド名レコードとして取り扱われます。1行目にはフィー ルド名、2行目以降にデータを記述するようにしてください。

FileMaker Pro

FileMaker Pro のデータベースです。プロジェクトから利用する場合には、同一マシン上の FileMaker Pro アプリケーションであ らかじめデータベースを開いておく必要があります。使用できる FileMaker Pro のバージョンは 5.5 ~ 10 です。

- ▲ 最前面にあるデータベースが対象となります。
- ▲ 現在表示されているレイアウトに含まれるフィールドが利用可能なフィールドとなります。
- 現在表示されている対象レコードが利用可能なレコードとなります。
- ▲ 現在の並び順(ソート順)がレコードの順序となります。
- ⚠️ MacOSX の Classic 環境上で動作している FileMaker Pro はサポート対象外です。
- FileMaker Proの機能とインターフェースを利用することで、ODBCやXMLをデータソースとして活用することが可能となります。
- **[** FileMaker Pro での ODBC や XML の利用方法等についての詳しい内容は、FileMaker Pro のマニュアルをご参照くだ さい。

Microsoft Excel

Microsoft Excel のデータベースです。プロジェクトから利用する場合には、同一マシン上の Microsoft Excel アプリケーション であらかじめブックを開いておく必要があります。使用できる Microsoft Excel のバージョンは 2004 です。

- ▲ 最前面にあるブックが対象となります。
- ▲ 現在選択されているセルが含まれる表がデータソースとして取り扱われます。
- ▲ Ge-DALe のプロジェクトでは Excel の表の1行目はフィールド名レコードとして取り扱われます。1行目にはフィール ド名、2行目以降にデータを記述するようにしてください。

MySQL

MySQL データベースです。プロジェクトから利用する場合には、プロジェクトパネルのデータソース部で接続の設定を行なう必要があります。

ポップアップメニューから MySQL を選択します。



MySQL 設定例

| アドレス / ポート | : | 接続先のドメインもしくは IP アドレスと使用するポートを指定します。 |
|------------|---|-------------------------------------|
| データベース | : | 接続するデータベース名を指定します。 |
| 名前 / パスワード | : | 接続する際に使用する名前とパスワードを指定します。 |
| エンコーディング | : | データを取得する際のエンコーディングを選択します。 |
| SQL | : | レコード配列を取得するための SQL を記述します。 |

「接続」ボタンをクリックすると MySQL データベースからレコード配列が取得されます。

▲ 自動レイアウトで使用されるレコードは「接続」ボタンをクリックした際に取得されたレコード配列に基づきます。

上記設定例はあくまでも一般的な例です。実際に設定するパラメータの詳細は接続するデータベースの管理者に確認して ください。

PostgreSQL

PostgreSQL データベースです。プロジェクトから利用する場合には、プロジェクトパネルのデータソース部で接続の設定を行な う必要があります。

ポップアップメニューから PostgreSQLを選択します。



PostgreSQL 設定例

| アドレス / ポート | : | 接続先のドメインもしくは IP アドレスと使用するポートを指定します。 |
|------------|---|-------------------------------------|
| データベース | : | 接続するデータベース名を指定します。 |
| 名前 / パスワード | : | 接続する際に使用する名前とパスワードを指定します。 |
| エンコーディング | : | データを取得する際のエンコーディングを選択します。 |
| SQL | : | レコード配列を取得するための SQL を記述します。 |

「接続」ボタンをクリックすると PostgreSQL データベースからレコード配列が取得されます。

▲ 自動レイアウトで使用されるレコードは「接続」ボタンをクリックした際に取得されたレコード配列に基づきます。

上記設定例はあくまでも一般的な例です。実際に設定するパラメータの詳細は接続するデータベースの管理者に確認して ください。

Unicode と異体字

Unicode 形式のデータソースを利用すると、特定のレイアウトアプリケーションに対して、「髙:はしごだか」、「吉:つちよし」 等の OpenType が持つ異体字を流し込むことが可能です。

Unicode 形式に対応したデータソース

Unicode (UTF-8 / UTF-16) エンコーディングの CSV / TSV

FileMakerPro $7\sim 10$

Microsoft Excel 2004 ~ 2008

MySQL / PostgreSQL

OpenType 異体字流し込みに対応したレイアウトアプリケーション

Adobe InDesign CS3 \sim CS4

Adobe Illustrator CS3 \sim CS4

▲ 上記以外の環境で Unicode データソースからの OpenType 異体字流し込みを行うと、該当文字部分に正字変換/欠落/ 文字化け等が発生する場合があります。

データフィールド

データソース内のフィールドはその使用方法によって、いくつかの種類に分類されます。

テキストデータフィールド

自動レイアウトで使用されるテキストデータが格納されたフィールドです。原則としてフィールドに格納された文字列がそのまま 流し込みに利用されます。

画像データフィールド

自動レイアウトで使用される画像データへのパスが格納されたフィールドです。フルパスが記述されている場合はそのパスから、 画像ファイル名のみが記述されている場合はプロジェクトの画像ファイルフォルダもしくはプロジェクトパネルで任意に指定され たフォルダから、それぞれ画像ファイルが引き当てられます。



ファイル名による引き当ての際には、サブフォルダや、より深い階層にある画像ファイルも自動的に検出されます。

ダ ボックスに流し込み可能な画像フォーマットはレイアウトターゲットアプリケーションに依存します。

テンプレート指定フィールド

そのレコードを流し込む際に使用するテンプレートのファイル名が格納されたフィールドです。テンプレートファイルはプロジェ クトのテンプレートフォルダから引き当てられます。

データソース上でテンプレートファイル名を指定する場合は拡張子を省略することが可能です。

マスター指定フィールド

そのレコードがレイアウトされるページに適用するマスターページ名もしくはファイル名が格納されたフィールドです。複数ページドキュメントを作成する場合はマスターページ名と見なされ、作業中のドキュメントからマスターページが引き当てられます。 単ページドキュメントを作成する場合はファイル名と見なされ、プロジェクトフォルダ内のテンプレートフォルダから、マスター ドキュメントファイルが引き当てられます。

データソース上でマスタードキュメントファイル名を指定する場合は拡張子を省略することが可能です。

マスター指定フィールドの内容が直前のレコードと異なる場合は、自動的に改ページされ新たなページに指定されたマスターが適用されます。

[2] データソースの具体的な構築方法等に関しては本製品のサポートの対象外とさせていただきます。

【生】各データソース製品についての詳しい内容は、以下の URL をご参照ください。

ファイルメーカー株式会社 (http://www.filemaker.co.jp/)

マイクロソフト株式会社 (http://www.microsoft.com/japan/mac/)

日本 MySQL ユーザ会 (http://www.mysql.gr.jp/)

日本 PostgreSQL ユーザ会 (http://www.postgresql.jp/)

テンプレート

テンプレートとは、小組のひな形のことを指します。複数のボックスで構成されたひとつのグループボックスが1テンプレート として定義されます。1テンプレートにはデータソースの1レコード分のデータが流し込まれます。

テンプレートはページやマスターページ上に並べることで自動レイアウトの対象として機能します。テンプレートの結合配置を利 用する場合はテンプレートファイルとして保存しておく必要があります。



テンプレートの種類

自動レイアウトで使用されるテンプレートは次の3つに分類されます。

レコードテンプレート

最も一般的なテンプレートです。データリンク情報をもつ複数のボックスで構成されるひとつのグループボックスとして定義され ます。

ヘッダテンプレート

ページが追加された際に機能する特殊なテンプレートです。ボックスの構成やリンク等はレコードテンプレートと同様ですが、マ スターにのみ配置可能です。ページが追加された時点でのレコードの内容が流し込まれます。

フッタテンプレート

ページの終末に達した際に機能する特殊なテンプレートです。ボックスの構成やリンク等はレコードテンプレートと同様ですが、 マスターにのみ配置可能です。ページの終末に達した時点でのレコードの内容が流し込まれます。

テンプレートの作成手順

テンプレートを作成する場合は、次の手順に則ってください。

テンプレートを構成する複数のボックスを作成する。 各ボックスをひとつずつ選択し、各々データリンク設定を行なう。 それらのボックス群をグルーピングする。 グルービングしたボックスをあらためて選択し、テンプレート設定を行なう。

グルーピングしただけではテンプレートとしては機能しません。必ずグルービングしたボックスに対してテンプレート設定を行なってください。

テンプレートファイルの保存

結合配置ボックスを利用してテンプレートを結合配置するためにはプロジェクトのテンプレートフォルダに格納しておく必要があ ります。テンプレートファイルはレイアウトアプリケーションのドキュメントファイルとして保存しておきます。

▲ ファイル名はデータソースのテンプレート指定フィールドで指定される名称と合わせておく必要があります。

▲ 結合配置時に使用されるのはテンプレートファイルの先頭ページの最前面のテンプレートです。テンプレートファイルは 単ページのみの構成で1ページ目にひとつだけテンプレートが存在している状態で保存してください。

テキストリンク設定

テキストボックスにリンク設定を行なう場合は、テキストボックスを選択してオブジェクト設定パネルから「データリンク設定」 ボタンをクリックします。

リンク設定パネルが開きます。

| | テキストリンク設定 | | | | | | |
|-----|-----------|---------------------------------|-----------------|-------------------|----------------------|------------------|--|
| No. | ^9 | ヘッダスタイル なし | フィールド 「たし」 : | 71-ルドスタイル たた | フッタ | + - : 799291H | |
| | オプション: | | • | | | | |
| | 長体/平体: | %ずつ | %まで | 文字サイズ縮小: | 0ずつ | Qまで | |
| | ボックス拡張: | リミットなし テキストをタグとし データが空の場合 | | ● 他テキストオ ● データが空の | ジックスの拡張に D場合オブジェク | 連動 小を消去 | |
| | スクリプト: | | : | | (++> | セル 設定 | |

テキストリンク設定パネル

リンクフィールド

テキストボックスの場合は、リンクフィールドを複数定義することが可能です。

リンクフィールドを追加する場合は、「+」ボタンをクリックします。リンクフィールドを削除する場合は、削除したいリンクフィー ルド行を選択して「-」ボタンをクリックしてください。順序を変更する場合は、変更したいリンクフィールド行を選択して「上 下矢印」をクリックしてください。

Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、ダイレクト選択ツール(白矢印)もしくは文字ツール(T)を使用します。
 QuarkXPress では、編集ツール(手のひら)を使用します。

ヘッダ文字列

フィールドデータの直前に挿入する文字列を入力します。

ヘッダスタイル

ヘッダ文字列に適用するスタイルを選択します。

▲ スタイルポップアップメニューに表示されるのは現在のドキュメントに定義された段落スタイルと文字スタイルです。

∅ ヘッダフッタ文字列に改行やタブ等を入力する場合はテキストエディタ等からコピー&ペーストを行うか、改行コード 「¥n」、タブコード「¥t」を入力してください。

フィールド

ボックスに流し込むデータが格納されているフィールドを指定します。

フィールドスタイル

フィールドデータに適用するスタイルを選択します。

▲ スタイルポップアップメニューに表示されるのは現在のドキュメントに定義された段落スタイルと文字スタイルです。

フッタ文字列

フィールドデータの直後に挿入する文字列を入力します。

フッタスタイル

フッタ文字列に適用するスタイルを選択します。

▲ スタイルポップアップメニューに表示されるのは現在のドキュメントに定義された段落スタイルと文字スタイルです。



∅ ヘッダフッタ文字列に改行やタブ等を入力する場合はテキストエディタ等からコピー&ペーストを行うか、改行コード 「¥n」、タブコード「¥t」を入力してください。

オプション

流し込み時にボックスからテキストがあふれた際の調整方法を指定します。

長体 / 平体

ボックスにテキストが収まるまで、横組の場合は長体、縦組の場合は平体がかけられます。

文字サイズ縮小

ボックスにテキストが収まるまで、文字サイズが縮小されます。

長体 / 平体→文字サイズ縮小

ボックスにテキストが収まるまで、長体 / 平体がかけられます。収まりきらない場合は、少しずつ文字サイズが縮小されながら長体 / 平体が繰り返されます。

文字サイズ縮小→長体 / 平体

ボックスにテキストが収まるまで、文字サイズが縮小されます。収まりきらない場合は、少しずつ長体 / 平体がかけられながら文 字サイズ縮小が繰り返されます。

ボックス拡張↑

ボックスにテキストが収まるまで、ボックスのサイズが上方向に拡張されます。

ボックス拡張←

ボックスにテキストが収まるまで、ボックスのサイズが左方向に拡張されます。

ボックス拡張↓

ボックスにテキストが収まるまで、ボックスのサイズが下方向に拡張されます。

ボックス拡張→

ボックスにテキストが収まるまで、ボックスのサイズが右方向に拡張されます。

長体 / 平体のステップ数とリミット

オプションで長体 / 平体を含む指定をした場合のみ、一回の調整量(ステップ数)と調整下限(リミット)を設けることが可能で す。ステップ数とリミットの指定は、パーセント値で行ないます。

文字サイズ縮小のステップ数とリミット

オプションで文字サイズ縮小を含む指定をした場合のみ、一回の調整量(ステップ数)と調整下限(リミット)を設けることが可 能です。ステップ数とリミットの指定は、ドキュメントで設定された単位で行ないます。

ボックス拡張リミット

オプションでボックス拡張を指定した場合のみ、その拡張上限(リミット)を設けることが可能です。リミットなし/隣接ボックスまで/テンプレート境界までのいずれかを指定します。

6. テンプレート

テキストをタグとして読み込む

チェックを入れると、流し込み時にフィールドデータがタグテキストとしてボックスに取り込まれます。このオプションを指定した場合は、定義できるリンクフィールドはひとつだけに限定されます。

▲ テキストをタグとして読み込む機能は Adobe InDesign と QuarkXPress でのみ使用可能です。Adobe Illustrator には対応していません。

他テキストボックスの拡張に連動

チェックを入れると、他のテキストボックスが拡張された場合、その拡張幅に合わせてボックスが移動されます。

▲ 他のテキストボックスの拡張方向に重なる場合のみ移動されます。

データが空の場合ヘッダフッタを無視

チェックを入れると、フィールドデータが空白の場合、ヘッダフッタ文字列が無視されます。

データが空の場合オブジェクトを消去

チェックを入れると、フィールドデータが空白の場合、流し込み時にボックスが削除されます。

スクリプト

ボックスへのデータ流し込みと調整が完了した後に実行されるスクリプトを指定します。

「設定」ボタンをクリックすると指定したパラメータがオブジェクトに記憶されます。「キャンセル」をクリックするとパラメータ は保存されません。

▲ パネルが開いている状態でパネル以外の部分をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

画像リンク設定

画像ボックスにリンク設定を行なう場合は、画像ボックスを選択してオブジェクト設定パネルから「データリンク設定」ボタンを クリックします。

Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、ダイレクト選択ツール(白矢印)を使用します。QuarkXPress では、編集ツール(手のひら)を使用します。

データリンク設定パネルが開きます。

| | 画像リンク設定 |
|-------------------------|---|
| | |
| フィールド: | al ÷ |
| オプション: | (なし : |
| 縮尺倍率: | % |
| 位置合わせ: | 000 |
| | ── ボックスを内容に合わせる |
| <i>አዕ</i> ሀ ፖ ኑ: | データが空の場合オブジェクトを消去 他テキストボックスの拡張に連動 なし キャンセル 設定 |

画像リンク設定パネル

フィールド

画像ボックスの場合は、定義できるリンクフィールドはひとつだけです。 ボックスに流し込むデータが格納されているフィールドを指定します。

オプション

流し込み時の画像の拡大縮小方法を指定します。

縮尺倍率指定

画像を指定した縮尺倍率で配置します。

プロポーショナルフィット

画像の比率を維持したまま画像全体が表示されるように拡縮して配置します。 ボックスと画像の比率が異なる場合はボックスに空白が生まれます。

プロポーショナルトリム

画像の比率を維持したままボックス全体が画像で埋まるように拡縮して配置します。 ボックスと画像の比率が異なる場合は画像がトリミングされます。





6. テンプレート

縮尺倍率

画像の縮尺倍率をパーセントで指定します。

位置合わせ

ボックスと画像の位置を合わせるポイントを指定します。

ボックスを内容に合わせる

チェックを入れると、ボックスが画像の大きさに合わせてリサイズされます。

データが空の場合オブジェクトを消去

チェックを入れると、フィールドデータが空白もしくは画像ファイルが見つからない場合、流し込み時にボックスが削除されます。

他テキストボックスの拡張に連動

チェックを入れると、他のテキストボックスが拡張された場合、その拡張幅に合わせてボックスが移動されます。

▲ 他のテキストボックスの拡張方向に重なる場合のみ移動されます。

スクリプト

ボックスへのデータ流し込みと調整が完了した後に実行されるスクリプトを指定します。

「設定」ボタンをクリックすると指定したパラメータがオブジェクトに記憶されます。「キャンセル」をクリックするとパラメータ は保存されません。

▲ パネルが開いている状態でパネル以外の部分をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

テンプレート設定

グループボックスにテンプレート設定を行なう場合は、グループボックスを選択してオブジェクト設定パネルから「テンプレート 設定」ボタンをクリックします。

Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、選択ツール(黒矢印)を使用します。QuarkXPress では、アイテムツール(+
 字矢印)を使用します。

テンプレート設定パネルが開きます。



テンプレート設定パネル

種類

テンプレートの種類を指定します。

スクリプト

テンプレートへのデータ流し込みが完了した後に実行されるスクリプトを指定します。

「設定」ボタンをクリックすると指定したパラメータがオブジェクトに記憶されます。「キャンセル」をクリックするとパラメータ は保存されません。

▲ パネルが開いている状態でパネル以外の部分をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

マスター

マスターとは、各ページの基本構成となる台紙のことを指します。複数ページドキュメントを作成する場合、マスターはドキュメ ントのマスターページから適用されます。単ページドキュメントを作成する場合、マスターはテンプレートフォルダ内のマスター ドキュメントファイルから適用されます。



マスターの設定

自動レイアウトの処理中に新たなページを追加する際にマスターは適用されます。ページ内のレイアウトは適用されたマスターに 基づいて実行されます。そのため次のようなページの基本構成となるオブジェクトはあらかじめマスターに配置しておく必要があ ります。

ヘッダテンプレート

フッタテンプレート

ペースト結合配置ボックス / フロー結合配置ボックス / レコードテンプレートのいずれか

テンプレートの結合配置には、指定位置に配置するペースト結合配置と成りゆきで配置するフロー結合配置の2つの方式があり ます。

▲ マスター上に配置しておけるヘッダテンプレートとフッタテンプレートはそれぞれひとつだけです。

▲ ペースト結合配置ボックスとレコードテンプレートは、マスター上に複数配置しておくことが可能です。

 マスター上に配置しておけるフロー結合配置ボックスは、原則としてひとつだけですが、例外として、連結された複数の テキストボックスをひとつのフロー結合配置ボックスとみなすことが可能です。その場合は連結の先頭のテキストボック スにフロー結合配置設定を行なってください。

レコードの内容に関係なく固定の小組を使用する場合は、あらかじめマスター上に直接レコードテンプレートを並べておきます。レコードの内容によってテンプレートを切り替える必要がある場合は、ペースト結合配置ボックスもしくはフロー結合配置ボックスを使用して自動レイアウト時にテンプレートの結合配置を利用します。

ペースト結合配置設定

ペースト結合配置ボックスはテンプレートを結合配置したい座標位置に作成します。

ボックスに結合配置設定を行なう場合は、ボックスを選択してオブジェクト設定パネルから「結合配置設定」ボタンをクリックします。

Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、ダイレクト選択ツール(白矢印)を使用します。QuarkXPress では、編集ツール(手のひら)を使用します。

結合配置設定パネルが開きます。

| | 結合配置設定 | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|--|--|
| ペースト結合面 フィー デンプレート: 位置合わせ: | 2 →ドデータ ファイル ・ ・ ・ ・ | | | | |
| () フロー結合配) | ールドデータ 〇 ファイル | | | | |
| テンプレート: | ()))))))))))))))))))))))))))))))))))) | | | | |
| 方向: | $X \circ N \circ Z \circ N$ | | | | |
| キャンセル 設定 | | | | | |
| | は今配置設定パネル | | | | |

結合配置設定パネルの「ペースト結合配置」ラジオボタンをチェックして、パラメータを指定します。

テンプレート

結合配置するテンプレートをレコード上のフィールドデータから参照する場合は、「フィールドデータ」ラジオボタンをチェック してフィールドをポップアップメニューから選択します。

任意のテンプレートファイルを指定する場合は、「ファイル」ラジオボタンをチェックしてテンプレートファイルをポップアップ メニューから選択します。

位置合わせ

ペースト結合配置ボックスとテンプレートの位置を合わせるポイントを指定します。

「設定」ボタンをクリックすると指定したパラメータがオブジェクトに記憶されます。「キャンセル」をクリックするとパラメータ は保存されません。

▲ パネルが開いている状態でパネル以外の部分をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

ペースト結合配置ボックスはテンプレート結合配置後削除されます。

フロー結合配置設定

フロー結合配置ボックスはテンプレートを成りゆきで配置したい領域に作成します。

ボックスに結合配置設定を行なう場合は、ボックスを選択してオブジェクト設定パネルから「結合配置設定」ボタンをクリックします。

Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、ダイレクト選択ツール(白矢印)を使用します。QuarkXPress では、編集ツール(手のひら)を使用します。

結合配置設定パネルが開きます。

結合配置設定パネルの「フロー結合配置」ラジオボタンをチェックして、パラメータを指定します。

テンプレート

結合配置するテンプレートをレコード上のフィールドデータから参照する場合は、「フィールドデータ」ラジオボタンをチェック してフィールドをポップアップメニューから選択します。

任意のテンプレートファイルを指定する場合は、「ファイル」ラジオボタンをチェックしてテンプレートファイルをポップアップ メニューから選択します。

方向

テンプレートを並べる方向を指定します。テンプレートは直前のテンプレートの終了位置に合わせて指定した方向に成りゆきで結 合配置されます。

「設定」ボタンをクリックすると指定したパラメータがオブジェクトに記憶されます。「キャンセル」をクリックするとパラメータ は保存されません。

▲ パネルが開いている状態でパネル以外の部分をクリックすると設定内容はキャンセルされます。

● フロー結合配置ボックスはテンプレート結合配置後も削除されません。

テンプレートの順序

ページ内の自動レイアウトが実行される際に、レコードのデータが流し込まれる順番は、並べられたテンプレートの座標位置では なく、前後関係で決定されます。再背面にあるテンプレートが先頭となり、最前面のテンプレートが最後になります。

ペースト結合配置ボックスの順序も同様のルールが適用されます。

マスターの適用

マスターはページが追加もしくは作成されるタイミングで適用されます。

自動レイアウトの開始時にはマスターは適用されません。レイアウトを実行する前に開始ページにはあらかじめマスターを適用しておく必要があります。

レイアウト実行

レイアウトを実行する際は、素材の準備を行なった後、プロジェクトパネルから「レイアウト実行」ボタンをクリックします。

✓ ポイント
 ・レイアウトを実行する前にデータソースとテンプレートを使用できる状態にしておく
 ・レイアウトを実行する際には開始ページを表示し開始テンプレートを選択しておく
 ・Adobe Illustratorでは複数ページドキュメントを作成できない
 ・QuarkXPressではPDF保存/テキストのアウトライン化はできない

自動レイアウトの準備

データソースの準備

データソースを自動レイアウトから使用できる状態に準備しておきます。

テキスト(CSV/TSV)ファイルを使用する場合はファイルをデータソースフォルダに格納しておきます。

FileMaker Pro を使用する場合は対象データベースを前面にして検索、抽出、ソートを行なっておきます。

Microsoft Excel を使用する場合は対象ブックを前面にして使用する表の中のセルを選択しておきます。

テンプレートの準備

自動レイアウトに使用するテンプレートファイルやマスタードキュメントファイルをプロジェクトのテンプレートフォルダに格納 しておきます。

マスタードキュメントを開く

自動レイアウトを行なう開始ページが含まれているマスタードキュメントを開き、開始ページを表示しておきます。

開始オブジェクトの選択

ページの途中からレイアウトを実行する場合は開始テンプレートを選択しておきます。何も選択されていない場合はページの先頭 のテンプレートからレイアウトが実行されます。

Adobe InDesign/Adobe Illustrator では、選択ツール(黒矢印)を使用します。QuarkXPress では、アイテムツール(+ 字矢印)を使用します。

プロジェクトパネル

| データソース | | | ページ処理 | | |
|--------------------------|---|-----|--------------------|-----------|---------|
| ● テキスト | | • | ● 現在のページのみ | | |
| FileMaker Pro | | _ | ○ 継続してページを追加 | | |
| Microsoft Exce | el | _ | () 7-1-J | ルドデータ 〇マ | スターページ |
| 0.10% | (11.00) | | マスター: | | \$ |
| 0 tone | MySQL | ÷ | 自動保 | 存 マスター | 毎に分割 |
| アドレス/ボート: | | | ○ ページ毎に別ドキ | キュメントを作成 | |
| データベース: | | | 0.74-1 | | スターファイル |
| 名前/パスワード: | | | 774 | | |
| エンコーディング: | Unicode | * | | | * |
| SQL: | | | 保存 | | |
| 接続 | | | الالاב+ ۲ | | ¢ |
| | | -) | 名称: プロジェク | 小名 🛟 名称 | 未設定 |
| 画像フォルダ | | | 保存スクリプト: | なし | \$ |
| 画像フォルダ: | | | | | |
| 選択 | | | スクリプト | | |
| | | | 開始スクリプト: | なし | \$ |
| データ範囲 | | | 終了スクリプト: | なし | \$ |
| 範囲指定 | 1 ~ | | | | |
| | n.C. | 114 | その他 | | |
| 0 現在のレコードから 件 | | | 実行前にドキュメントフォルダをクリア | | |
| レイアウトターゲット | | | 実行前にログフォ | オルダをクリア | |
| A-Hack | ターゲット・ | | | リストを編集 | |
| 2-2215 | ティストのアンドライン化 | | | もしない | |
| | A 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 | | ログレポートのま | 城市 一文字ある | ふれもレポート |
| - | | _ | <u> </u> | 0 | |

プロジェクトパネル

データソース

使用するデータソースを選択します。

テキスト (CSV/TSV) の場合はポップアップメニューから使用するファイルを指定します。

FileMaker Proの場合は最前面にあるデータベースが対象となります。

Microsoft Excel の場合は最前面のブック上で選択されているセルが含まれる表が対象となります。

その他 (MySQL/PostgreSQL) の場合はパラメータを指定して「接続」ボタンをクリックします。

【2】データソースについての詳しい内容は、ユーザーガイド「5. データソース」をご参照ください。

画像フォルダ

画像が格納されているフォルダを指定します。省略した場合はプロジェクト内の画像ファイルフォルダが対象となります。

データ範囲

開始レコードと終了レコードを指定します。それぞれ省略した場合は、開始レコードは最初のレコード、終了レコードは最後のレ コードとなります。

データソースに FileMaker Pro/Microsoft Excel を指定している場合のみ、現在のレコードを基準に範囲を指定することが可能です。

レイアウトターゲット

レイアウトターゲットをポップアップメニューから選択します。

オブジェクトの設定を行なう場合は「オブジェクト設定パレットを開く」ボタンをクリックします。

▲ レイアウトターゲットを選択するためには、あらかじめ対象となるレイアウトアプリケーションを起動しておく必要があります。

ページ処理

ページ処理を指定します。

現在のページのみ

現在のページのみにレイアウトを実行します。データ範囲の終了レコードに達しない場合でもページの終末で自動レイア ウトは終了します。

継続してページを追加

現在のページ以降、継続してページを追加しながらレイアウトを実行します。

ページを追加する際に適用するマスターページを指定します。

マスターをレコード上のフィールドデータから参照する場合は、「フィールドデータ」を選択してフィールドをポップアップメニューから選択します。

任意のマスターページを指定する場合は、「マスターページ」を選択してマスターページをポップアップメニューから選 択します。

「自動保存」にチェックを入れると、各ページの終末でドキュメントが自動的に上書き保存されます。

「マスター毎に分割」にチェックを入れると、マスターが切り替えられた際にドキュメントが分割保存されます。

🕐 Adobe Illustrator には複数ページの概念が存在しないため「継続してページを追加」は指定できません。

ページ毎に別ドキュメントを作成

各ページを別のドキュメントとして作成しながらレイアウトを実行します。

ページを作成する際に使用するマスタードキュメントファイルを指定します。

マスターをレコード上のフィールドデータから参照する場合は、「フィールドデータ」を選択してフィールドをポップアッ プメニューから選択します。

任意のマスタードキュメントファイルを指定する場合は、「マスターファイル」を選択してマスタードキュメントファイ ルをポップアップメニューから選択します。

マスターとして使用されるのはマスタードキュメントファイルの先頭ページです。

保存

成果ドキュメントの保存形式とファイル名称を指定します。

ドキュメント

レイアウトアプリケーションのドキュメントファイルとして保存します。

PDF

PDF ファイルとして保存します。ポップアップメニューから使用する PDF 書き出しプリセットを選択します。

♪ PDF 保存は Adobe InDesign と Adobe Illustrator でのみ使用可能です。QuarkXPress には対応していません。

名称

保存するファイルの名称を指定します。ファイル名には「プロジェクト名」、「カスタム名」、「タイムスタンプ」、「レコー ド番号」、任意の「フィールドデータ」のいずれかを指定することが可能です。

プロジェクト名またはカスタム名を指定した場合は「名称 + 自動連番 + 拡張子」、タイムスタンプを指定した場合は「西 暦4桁 + 月2桁 + 日2桁 + 時2桁 + 分2桁 + 秒2桁 + 拡張子」、レコード番号またはフィールドデータを指定した場 合はファイル中の「開始レコード情報 + 終了レコード情報 + 拡張子」といったファイル名で保存されます。

保存スクリプト

ドキュメントを保存した後に実行されるスクリプトを指定します。

スクリプト

開始スクリプト

自動レイアウト実行の前に実行されるスクリプトを指定します。

終了スクリプト

自動レイアウトが完了した際に実行されるスクリプトを指定します。

その他

実行前にドキュメントフォルダをクリア

チェックを入れると、自動レイアウト実行の前にドキュメントフォルダに格納されているすべてのファイルが削除されます。

実行前にログフォルダをクリア

チェックを入れると、自動レイアウト実行の前にログフォルダに格納されているすべてのファイルが削除されます。

置換リストを使用

チェックを入れると、置換リストに基づきテキストが置換えられます。「置換リストを編集」ボタンをクリックすると置 換リストを編集することが可能です。

12 置換リストについての詳しい内容は、ユーザーガイド「4. プロジェクトフォルダ」をご参照ください。

テキストのアウトライン化

チェックを入れると、自動レイアウトが完了した際にすべてのテキストがアウトライン化されます。

↓ テキストのアウトライン化は Adobe InDesign と Adobe Illustrator でのみ使用可能です。QuarkXPress には対応していません。

アクティブテンプレートがない場合は何もしない

チェックを入れると、選択されたテンプレートが存在しないときに自動レイアウトがキャンセルされます。AppleEvent による稼働機能とあわせて利用すると、予期せぬ流し込みを防止することが可能です。

ログレポートを表示

チェックを入れると、自動レイアウトが完了した際にログレポートが表示されます。

文字あふれもレポート

チェックを入れると、ログレポートに文字あふれの報告が含められます。

レイアウト実行

プロジェクトパネル上で各パラメータを指定し、「レイアウト実行」ボタンをクリックします。 ステータスパネルが表示され、自動レイアウトが始まります。



処理を中止する場合はステータスパネルが前面に表示されている状態でコマンドキーとビリオドキー(#+.)を同時に押し続けま す。

自動レイアウト処理の状況によっては処理の中止までにしばらく時間がかかる場合があります。その際は処理が中止されるまでキーを押し続けてください。

その他の機能

HTML への書き出し

レイアウトターゲットとして HTMLを指定すると、マスターやテンプレートを使用しながら、データソースの内容を静的 HTML に書き出すことが可能です。

使用するマスターとテンプレートには、あらかじめタグとしてテンプレートの結合やデータのリンクを設定しておき、テンプレートフォルダに格納しておく必要があります。

タグの書式

タグは HTML 中に次の形式で記述します。

タグコード , パラメータ

タグには結合タグと置換ダグがあり、マスターには結合タグを、テンプレートには置換タグをそれぞれ記述します。 結合タグにはレコードタグ、ヘッダタグ、フッタタグの3種類があります。

レコードタグ

タグコード : R

パラメータ : テンプレートフィールド名もしくはテンプレートファイル名

各レコードの数だけ、繰り返しテンプレートの結合とデータの置換が行なわれます。マスターにのみ記述できます。

ヘッダタグ

タグコード : H パラメータ : テンプレートフィールド名もしくはテンプレートファイル名 最初のレコードを処理する際に、テンプレートの結合とデータの置換が行なわれます。マスターにのみ記述できます。

フッタタグ

タグコード : F パラメータ : テンプレートフィールド名もしくはテンプレートファイル名 最後のレコードを処理する際に、テンプレートの結合とデータの置換が行なわれます。マスターにのみ記述できます。

置換タグ

タグコード : N パラメータ : データフィールド名

レコード内の該当するフィールドデータでテキストが置換されます。テンプレートにのみ記述できます。

タグ設定例

データソース、マスター、テンプレートの設定例を示します。

```
    データソース
    社員番号,氏名,テンプレート
0001,北海太郎,A
    0002,青森太郎,B
    0003,岩手太郎,B
    0004,宮城太郎,A
    0005,秋田太郎,B
```

— マスター(master.html)—

```
<html>
<html>
<head>
<title>サンプル </title>
</head>
<body>

</head>
<body>

</body>
</html>
```

_ テンプレート(index.txt)-

###N, 社員番号 ###

_ テンプレート(A.txt)___

###N,氏名 ###

_ テンプレート(B.txt)_

###N, 氏名 ###

HTML 書き出し結果

上記設定例から HTML を書き出した結果です。

イベントによる稼働

Ge-DALe は AppleEvent を受けて自動レイアウトを実行することが可能です。プロジェクトパネルが開かれた状態で、次の AppleEvent を受信すると「レイアウト実行」ボタンをクリックしたときと同様の処理が実行されます。

前面で実行する場合

イベントクラス : GeDL イベント ID : awrk

背面で実行する場合

イベントクラス : GeDL イベント ID : dwrk

FileMaker Pro から利用する場合

FileMaker Pro スクリプトのスクリプトステップ「Event を送信」を作成します。

「アプリケーション指定 ...」をクリックして Ge-DALe を選択します。

「送信イベント」のメニューからその他を選択し、イベントクラスに「GeDL」、前面で実行する場合はイベント ID に「awrk」、背面で実行する場合にはイベント ID に「dwrk」と設定します。

「OK」をクリックしてスクリプトの設定を閉じます。

| [Event を送信] の7 | †プション | |
|--|---|-----------------------|
| 対象アプリケーション: "Ge-DALe.app" | | |
| 送信イベント: その他 🛟 |) | |
| ○ファイル 指定 | イベントを指定 | |
| ○計算 指定 ③ スクリプト記述 | 送信イベントのクラスと ID を指 イベントクラス: GeDL イベン 年ャンセル | 定 ト ID: dwrk OK |
| オプション | | |
| 対象アプリケーションを手前に表示 イベントの完了を待つ イベントの結果をクリップボー アプリケーション指定 | 示 ドヘコピー キャンセル OK | |

[注] FileMaker Pro でのスクリプトの利用方法等についての詳しい内容は、FileMaker Pro のマニュアルをご参照ください。

9. その他の機能

AppleScript から利用する場合

AppleScript のスクリプトエディタ等で以下のように指定します。

| tell application "Ge-DALe" «event GeDLawrk» end tell | |
|--|--|
| | |
| 背面で実行する場合 | |

Ø AJ

・ AppleEvent を囲んでいる「«」と「»」はそれぞれ、option + 「]」、option + shift + 「]」で入力可能です。

スクリプトメニュー

AppleScript のスクリプトファイルを OS のメニューから実行する方法を紹介します。

アプリケーションフォルダ内の「AppleScript」フォルダを開き、「AppleScript ユーティリティ (10.4)」、または「Install Script Menu (10.3)」を実行して、スクリプトメニューを追加します。

スクリプトフォルダを開き、その中にスクリプトファイルを格納すると、スクリプトメニューからスクリプトを実行することが可能になります。



12 AppleScript についての詳しい内容は、AppleScript ヘルプもしくは以下の URL をご参照ください。

アップルジャパン株式会社 - AppleScript Web サイト(http://www.apple.com/jp/applescript/)

スクリプトの実行

自動レイアウトの実行中に、あらかじめ指定した AppleScript を実行させることが可能です。スクリプトファイルはプロジェクト のスクリプトフォルダに格納し、プロジェクトパネルや各種設定パネル上で指定します。

スクリプトの種類

開始スクリプト

自動レイアウト実行の前に実行されるスクリプトです。プロジェクト毎に指定可能です。プロジェクトパネルで設定しま す。

ボックススクリプト

ボックスへのデータ流し込みと調整が完了した後に実行されるスクリプトです。ボックス毎に指定可能です。データリン ク設定パネルで設定します。

テンプレートスクリプト

テンプレートへのデータ流し込みが完了した後に実行されるスクリプトです。テンプレート毎に指定可能です。テンプレー ト設定パネルで設定します。

保存スクリプト

ドキュメントを保存した後に実行されるスクリプトです。プロジェクト毎に指定可能です。プロジェクトパネルで設定し ます。

終了スクリプト

自動レイアウトが完了した際に実行されるスクリプトです。プロジェクト毎に指定可能です。プロジェクトパネルで設定 します。

スクリプトの書式

以下の例のように、スクリプト内に「MAIN」という名称のハンドラを定義し処理を記述します。Ge-DALe はスクリプトを実行 する際に「MAIN」ハンドラを呼び出します。

— MAIN ハンドラ -

on MAIN(target_object) tell application "xxxxx" tell target_object

~処理を記述~

end tell end tell end MAIN

⚠ ハンドラの名称は必ず「MAIN」という名称にして、引数を格納するローカル変数をひとつ定義してください。

🧭 変数 target_object は、Ge-DALe から受け渡される引数が格納されるローカル変数です。

引数

「MAIN」ハンドラが実行される際に、それぞれ次のデータ型をもつ引数が受け渡されます。

| 開始スクリプト | : | プロジェクトフォルダのリファレンス(エイリアス型) |
|-------------|---|---|
| ボックススクリプト | : | ボックスオブジェクトのリファレンス(アプリケーション固有のオブジェクト型) |
| テンプレートスクリプト | : | テンプレートオブジェクトのリファレンス(アプリケーション固有のオブジェクト型) |
| 保存スクリプト | : | 保存されたファイルのリファレンス (エイリアス型) |
| 終了スクリプト | : | プロジェクトフォルダのリファレンス(エイリアス型) |

エラー処理

スクリプトの実行中にエラーが発生した場合は、そこでスクリプトが中断され、エラー内容がログレポートに記載されます。スク リプト内にエラー処理が施されている場合はそちらの処理が実行されます。

12 AppleScript についての詳しい内容は、AppleScript ヘルプもしくは以下の URL をご参照ください。

アップルジャパン株式会社 - AppleScript Web サイト(http://www.apple.com/jp/applescript/)